葛飾為一遺墨

北齋漫畫十二編

全

北斎漫画ハ顧愷之甘蔗を
食ふが如し漸く佳境に入り
十二編に臻て狂態百出筆力
老てますます壮し僧正が俵と
軽重を論じ一蝶が鞠と

高低とあひをまぢへし繪難き
ふたびけるとしいうでう自然
そのうりを得人

天保甲午春

柳樵子

北齋漫畫十貳編圖

尾州書肆永樂屋

前北齋爲一

笑門ㇾ福来る

相馬公家

公時遊戯

綻
仰天

雷乃怪我

嚊み
無想

大嚢

隘沕

風

唐人踊り

素麺
附髪

股野

塩冶判官
天眼鏡

千人切

和藤内
休足
新吉原仲之町
竹村伊勢大掾

浄瑠理
出情
治療

天狗の面を
風呂鋪に
包む

鍋鑄懸示 釣鐘

獵師
寒念佛

帯引

鉤の名人

同河童を釣れの法

縦
横

膽が芋に成る

餅ハ餅屋

灰吹から
大蛇

早飛脚

眼療
泥田棒

獨相撲
雲雀山
餓鬼之助
立臼に
藁を巻く

あけはなし
たれかけ無用

蚓ル天上

蛮国の
灸治

鱣登り

風呂屋

かんたん

耳垢
鍋蓋

福引

彫工 江川留吉